

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



DISTRICT
2640

10

2011-2012
vol.4

Governor's Theme

RI Theme



RI会長 メッセージ ガバナーメッセージ

米山月間を迎えて

米山記念奨学部門カウンセラー 平岡 正巳

米山月間によせて

米山記念奨学委員会委員長 谷野 一彦

米山記念奨学会委員会の奨学生選考について

米山選考小委員会委員長 西村 元秀

米山学友について

米山学友小委員会委員長 雪本 孝治

米山月間にちなんで

米山寄付増進小委員会委員長 塩路 良一

10月職業奉仕月間に因んで

奉仕プロジェクト部門カウンセラー 米田 真理子

職業奉仕月間によせて

職業奉仕委員会委員長 米澤 清和

2010-2011年度決算報告書



2011～2012年度RI会長
カルヤン・パネルジー

2011～2012年度ガバナー
大澤 徳平

RI会長メッセージ

バンコクで会いましょう

ロータリーの兄弟・姉妹の皆さん

今月号の『ロータリーの友』では、2012年の国際ロータリー (RI) 年次大会をホストすることになっている素晴らしい街、タイのバンコクが紹介されています。信じられないほど素晴らしいイベントとなることを約束されているこの大会へ、私や私の家族、仲間のロータリアンたちと一緒に参加されるように、という私からのお誘いについて、ぜひご検討いただきたいと思います。

国際性を身につける

タイは見ごたえのある目的地で、本当にほほ笑みにあふれた国です。私は特に、これまでタイを訪れたことのないロータリアンたちに、この国際大会をチャンスとしてお考えになることを、お勧めいたします。皆さんは親切なホスト・ロータリアンたちや、世界中から集まった古くからの、あるいは新しい友人たちに取り囲まれることでしょう。バンコクは、東南アジアを探求しようとする人々にとってはもってこいの入り口であり、また、この街自体が素晴らしい経験ができる街でもあります。近隣諸国の人々にとっては、ショッピング、食事、観光を含めすべてのものがある、文化あふれる首都を訪れる機会となります。バンコクは、皆さんが費やす時間やお金に見合うだけの素晴らしい価値があります。

しかし、バンコクを訪れる本当の理由は、もちろん、ロータリー行事予定のハイライト、5月6～9日に開催される2012年RI国際大会そのものです。私たちは一年を通して、ロータリーのある世界中の地域社会に手を差し伸べています。私たちは国際大会でこれら地域社会を代表する人々と一堂に会し、いろいろな言語を聞き、いろいろな人たちに会い、そして、この一年間に実施されたプロジェクトについて学びます。ロータリーの国際大会ほどロータリーの国際性を身につけて帰ることのできるものはなく、人々を感激させる力をもったものは他に例がありません。

ロータリーのイベントは家族のイベント

私は、あらゆるロータリーのイベントは家族のイベントであるべきだと固く信じています。だからこそ、妻のビノタと私は、子どもたちや孫たちを連れて参加しようと考えているのです。皆さんも私と同じように、来年のロータリー国際大会を家族連れの休日になさいませんか？ 数多くの行事や活動に加えて、どなたにとっても得るものがあり、ロータリーの奉仕を私たちの家族にとって親しみ深い存在とする機会にあふれています。

旧友と出会い、さらに新しい友人をつくるために、私たちの成功を喜び合い、その経験から学ぶために、毎年、私は国際大会に出かけるのを楽しみにしています。そして、また奉仕の新しい一年を始めようと心に誓いながら、ロータリーへの誇りとともに、毎年会場を後にします。

バンコクは、これまでの中で最高の国際大会になることをお約束します。皆さんが今すぐ

<http://www.rotary.org/convention>

で登録し、第103回国際大会への旅行計画を立てられますことを、心からお勧めします。



2011-2012年度 RI会長
カルヤン・バナネルジー

“日々是職業奉仕”



ロータリークラブの会員に推薦される基準として示されている「善良な成人であって、職業上、および地域社会において良い世評を受けている者」ということは、とりもなおさず、職業を通して、社会に奉仕していることを認められてこそ、与えられる資格ですから、ロータリアンはすべて立派な職業奉仕の実践者であるとみて差し支えないと思います。従って、日々従事している自分の職業に専ら励むことが、世の中のために役に立っていることです。おのおの異なった職業に従事しているが、その職業が社会のために有用なもので、その道徳的水準を高め、人類の進歩と幸福に貢献していれば、立派な職業奉仕です。

その上に、職業人としてのロータリアンの心構えを簡潔かつ的確にまとめた「四つのテスト」(Herbert J.Taylor)があります。簡易な人生不滅の灯明とも考えられるこのテストを一人ひとりのロータリアンの頭の隅にあれば立派に職業奉仕を実践されております。この機にもう一度意識してください。

自分の言おうとすること、行なおうとすることは一切まずこの「四つのテスト」に照らして見て、第一に果してそのことが真実かどうかをただし(嘘偽りがないかどうか)、第二にはそのことが皆に公平(公正)かどうか(すべての取引先に対して公正かどうか)、よく確めてから言行する、第三にはその言動の結果が善意と友情を深めるや否やをテストし、たとえ真実で公平であっても善意と友情をそこなう言行は避けなければなりません。例えば、太ることを嫌がっている太った婦人に、貴女は非常に太っていられると真実を語るのは、友情を深めることにはならないので、遠慮しなければなりません。第四は自分のしようとする言行が世の人を益するかどうか(社会全体の利益を図ろう)を問うのであります。事業を繁栄に導くために、この四つの基準を一つずつクリアすればいいのではなく、四つ纏めたものを一つの基準として、そのすべてをクリアしなければなりません(Four-way testで Four-way testsではない)。

色々な奉仕団体がありますが、ロータリーにしかない職業奉仕です。マニュアルはございませんが、百種の職業があれば百種の職業奉仕があります。

最後にロータリークラブは奉仕団体ではありません。ボランティア団体でもありません。奉仕を志す人々の集まりです。奉仕を志す人々を作る団体です。

米山月間を迎えて

地区米山記念奨学部門カウンセラー パストガバナー

平岡 正巳



日本のロータリー活動の創始者と申しても過言でない米山梅吉氏は、生前東南アジアから日本に来て苦学している留学生を個人的に支援されていた。その事は生存中は知られなかったが逝去されてから、その善事が明らかになり、東京RCが米山氏の遺徳を偲んで、クラブの奨学金事業にしようとしたと決定され、1954年に奨学金生第1号が誕生した。その活動は単に東京RCだけに止まらず1957年には、日本の全RCの合同事業として「ロータリー米山奨学委員会」が結成され、全国組織となった。

日本のロータリー活動の発展と共に米山奨学金の寄付も増え、1967年には「財団法人米山記念奨学会」と成り、奨学生も増え、2000年には年間1,200人の奨学生を採用する迄に発展し、2001年には米山奨学生の累計数が1万人を突破し、日本政府から奨学生交流功労団体として表彰された。更に2004年にはRI理事会で米山記念奨学事業が賞賛されるに至ったのである。

米山奨学金を得て学んだ留学生が帰国して本国で活躍している人材は数多く輩出している。2008年より第18代駐日大韓民国大使として赴任されている權(ウオン)哲(フヨン)賢(ビョン)氏も、かつての米山奨学生であった。1983年には台湾に米山学友会(米山奨学生のOB・OG会)が発足し、1989年には韓国に、そして2009年には中国にも学友会が発足し、それぞれ故国の発展に寄与すると共に、知日派として国際理解に貢献している。

ロータリー財団が、その主要事業であった奨学金活動に於いて留学の応募者が激減している傾向の中で、米山記念奨学会事業は、その応募条件が現在及び過去にロータリークラブが存在しておれば、どの国からの留学生も応募できるので、益々意義が深い。ただ、奨学金の基金は会員からの寄付が中心であるので、会員のより一層の理解と支援が必要である。当第2640地区は伝統的に米山記念奨学会プログラムには特別のご理解を頂いているので、会員の皆様のご支援と特にお願いする次第です。

尚、米山記念奨学会ワークブックに掲載の米山氏のプロフィール「奉仕の人『米山梅吉』」を紹介します。

奉仕の人「米山梅吉」

米山梅吉氏(1869-1946)が、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20歳で米国へ渡り、8年間の苦学の留学生活を送りました。帰国後、文筆家お志して勝海舟に師事しますが友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されるといち早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を「社会への貢献」とするなど、今日の社会貢献事業の基盤を作りました。晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成などおおくの社会事業・医療事業に奉仕しました。また、子どもの教育のために、はる夫人とともに私財を投じて小学校を創立しました。「何事も人々にしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ」これは米山梅吉氏の願いでもありご自身の生涯そのものでした。「他人への思いやりと助け合い」精神を身を思っで行いつつ、そのことについて多くを語らなかった陰徳の人でした。

米山月間によせて

地区米山記念奨学委員会委員長

谷野 一彦



ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給し、支援する、事業規模と採用数において日本の民間最大の奨学基金団体です。

ロータリアンとの交流を通じ、日本人の心を理解してもらい、互いに信頼関係を築き、将来、世界平和の架け橋となる優秀な人材を育成することを目的としています。

当2640地区は小委員会制(米山選考小委員会・米山学友小委員会・米山寄付増進小委員会)をとり、米山奨学生に良好な勉学環境を提供しロータリーと米山奨学事業の理念を伝え、また地区内奨学生と世話クラブ・カウンセラーへの支援、およびロータリアンと米山奨学生、学友の交流をより促進する活動をしてまいります。

さて、この度の台風12号大雨による和歌山紀南地区に甚大なる被害が及びましたことに、心からのお見舞いと一日も早い復旧復興を、米山記念奨学委員会並びに米山学友会一同、ご祈念申し上げます。

当地区においてこのような大変な事になっているということ、米山学友会並びに本年度米山奨学生たちが知り、日頃お世話になっている地区の一大事ということで、少しでもお役に立てることがあれば馳せ参じたいという声があがってまいりました。地区米山記念奨学委員会においても、学生たちからの声を形にさせていただこうということで、9月24日・25日両日において、被災地に向かい、災害復旧のボランティア活動を学友会が中心となりお手伝いをさせていただきました。



米山月間によせて

学生有志10名は、当該クラブのロータリアンの方々と共に、24日は新宮市熊野川町玉置口の、ボランティアがなかなか入れない地域へと向かいました。その行程は、道路が寸断され、う回路を利用してのかなり困難な道のりで、到着が大幅に遅れ短い時間となりましたが、充実したボランティア活動ができました。

25日は田辺市社会福祉協議会からご紹介いただき田辺市本宮町うらら館において清掃活動にあたらせていただきました。

また、学生たちの些少の気持ちであります、米山学友会活動費より、雑巾1000枚を各地域に寄贈させていただきました。参加学生たちは、自然災害のもたらす被害の大きさに驚きと衝撃を受けておりましたが、少しなりとも災害に遭われた地域の方のお役に立てたことは、学生たちにとって、有意義な経験となり、今後の彼らの活動により影響を与えていただけたことでしょう。

今回の活動は学生自ら申し出てくれたことに大きな意味があり、先輩ロータリアンの方々が50年にわたり受け継がれた熱心な米山事業への取り組みがすこしずつ実を結んできているのではないのでしょうか。

今後とも、米山事業の外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて、一人ひとりの胸に世界平和を願う"心"を育てるといふ理念をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

1 2011年(平成23年)9月27日(火曜日)

「少しでも応援したい」 留学生らがボランティア



浸水家屋から廃物を出す学生ら＝24日、新宮市熊野川町玉置口

国際ロータリー第2844地区(大阪府・和歌山)の米山記念奨励委員会(委員長は24、この前日、熊野市熊野川町土置口のボランティア活動をした)に参加したのは、ロータリー米山記念奨励会の同地区支会の大學生で、中国、台湾、マレーシア、ミャンマー、ベトナムなどから留学している10人。手分けして浸水家屋のふき掃除、いまだ手付かずの浸水家屋からの荷物の運び出しなどに汗を流した。大阪大大学文学部英米語学科4回生の田嶋(たに)さん(23)は「留学の一員として長い間日本の方々から応援していただき、感謝でいっぱい。私にとって日本は第二の故郷で、和歌山の被害を見て何ができる事が無いかと思った。川、木、家、被災地の様子を写真に撮って心が痛む。これからの生活はとも大変なと思うので、少しでも力を貸したい、希望を伝えたい」と話した。

同奨励委員会は、日本の心を世界各国からの留学生へ伝え、世界の平和と発展に貢献するのが目的。谷野委員長は、地区ごとに、その地区の特色から寄付に交わられて成り立っています。そうした日、又のお世話に感謝したいと学友会から申し出があったので、形にしたいと実施しましたと話した。



乾いて舞い込んでくる泥をはき出す学生ら

新熊
野
The
Kumano
Shimbu

2011年 9月27日
(平成23年) 火曜日/先負



発行所 株式会社 熊野新聞社
〒717-0011 和歌山県新宮市388番地4
電話番号 TEL 0734-22-9898 FAX 0734-22-2446

米山記念奨学会委員会 の奨学生選考について

地区米山選考小委員会委員長

西村 元秀



今年度も引き続き米山記念奨学生 の選考を担当することになりましたが、選考の方針や考え方は変わらず、会員の皆様からのご寄付で成り立っている米山奨学金を公平にしかも会員の皆様の意思にそった使われ方をなるべく、どのような学生を支援するべきか、又どのような選考方法をとるべきかを第一に考えています。

現在、奨学生 の選考は指定校推薦制度をとっています。第2640地区では、地区内の資格を有する留学生が在籍するすべての大学・高等専門学校を指定校とし、学校より優秀な学生を推薦して頂き、その中から選考していますので、学業の優秀さにおいては大きな差はないと思います。委員会で選考する上での選考の最重要点は、コミュニケーション能力が高く日本の文化・習慣を学ぶ意欲があることです。奨学生に認定されてからは、ロータリーの例会への参加はもちろん奉仕活動へも積極的に参加し、ロータリー精神を理解してもらうようにしています。

2640地区では独自の選考方法をとっています。事前に書類審査及び電話による生活状況や電話対応能力の把握をし、その後日本語の理解度・ロータリーの知識度・奉仕活動への意欲度・コミュニケーション能力等を筆記試験します。最後に地区米山委員会と面接官による面接を実施し、それらの総合評価により選考しています。学生を選考にあたり、多くの選考者の意見をまとめその結果で判断していくようにと考えています。また一国からの採用率が50%を超えないように配慮もしています。

今後は、選考の基準をより明確にし、学生たちの現在おかれている状況をより詳しく把握したうえでの選考となるように考えていきたいと思っております。

最後になりましたが、2012～2013年度の2640地区での奨学生採用数は26名です。その内継続学生は3名、新規採用数は23名となっています。選考事業はすでに7月より始まっており、来年1月の最終選考に向けて準備を進めています。今後もより良い奨学生選考を考えていきたいと考えておりますので、ご理解ご協力を宜しくお願いいたします。

米山学友会とは

地区米山学友小委員会委員長

雪本 孝治



米山学友会とは、米山(元米山記念奨学生)と現役奨学生によって組織されている会です。現在、日本国内に30、海外に3(韓国・台湾・中国)の計33の米山学友会があります。学友会によって活動内容は異なりますが、地区米山記念奨学委員会やロータリアンとの絆を結び、学友同士の交流を深めさまざまな活動を行っております。学友会は親睦を深めるだけでなく、多くのロータリーの地域奉仕活動に参加し、文化交流や学友会独自の奨学制度を開始し、災害による被災者のために義援金を送るなど多くの奉仕活動にも熱心に取り組んでおります。また、昨年当地区米山学友会により上海シンポジウムが2010年10月10日(日)上海スワンホテルで開催されました。

今回のシンポジウムは、日本在住の奨学生・学業を終えた学友がそれぞれの立場からロータリークラブへの感謝を述べ、日本留学中の苦勞話と現在の活躍についての報告があり、ロータリアンとの親睦交流会等々を再認識することができました。米山学友生は日本で培った絆と将来のロータリアンとして世界平和に貢献するものと確信しております。ロータリー米山記念奨学会では2008年度より「ホームカミング制度」を設けて米山学友の里帰り訪問を推進しています。また、学友を各ロータリー地区が地区大会などの行事に招待してロータリアンにその活躍ぶりを披露していただく制度であり、再会を楽しみにしております。

2009-2010年度実施報告より～来日した学友の声～

“奨学生と違う立場で里帰りしロータリアンの皆様の奉仕の姿勢に感動しました。これからも私も社会責任を持って力を尽くさなければいけないと思っています。”

“ロータリアンの皆様と再び触れ合い、かつての米山学生としての自分の現職場での業績を報告しロータリアンへの感謝の気持ちを伝える事ができて嬉しかったです。”

“米山奨学生というのはお金を貰うだけではありません。現役奨学生も将来このロータリアンから恩恵を何らかの形で社会に奉仕する気持ちを心の中で持って欲しいです。”

“米山奨学生の時のロータリアンとの交流は私がロータリー精神を理解しロータリアンと志を1つにする過程でした。現在の奨学生にも大勢のロータリアンと交流してほしいです。”

米山月間にちなんで

「米山梅吉翁を回想しつつ寄付増進のお願い」

地区米山寄付増進小委員会委員長

塩路 良一



記念すべき高名を頂戴し、日本中のロータリアンが慣れ親しんで使用させていただいている「米山」氏とは、どのようなお方でしょうか？日本で最初に出来た東京ロータリークラブの初代会長「米山梅吉」氏(以下「翁」と述べます)までは、皆さんご存じでしょうが、月間にちなんでこの際、もう少し翁のことを知っておきたいと思います。

翁は慶応4(1968)年江戸に生まれ、幼くして母の郷里静岡県三島(今の米山梅吉記念館があるところ)に移住し再び上京、青山学院の前身東京英和学校へ転学されています。20歳で米山家の養子に、そして8年におよぶアメリカ留学の機会を得て、国際感覚を身に着けられたようです。明治29(1896)年帰国後結婚、翌年三井銀行に入社、12年後に常務取締役(その後三井信託銀行初代社長)に就任するなど、三井財閥経営陣トップの地位にありました。

国際通であることから度々渡米等の機会があったと思われませんが、大正7(1918)年偶々テキサス州ダラスで三井物産勤務の福島喜三次氏(後の東京ロータリークラブ初代幹事)に遭い、ダラスロータリークラブの会員であった氏の誘いで例会へ出席したのです。翁の思いはこの時から始まりました。日本でこのような会合を持っていないものか、その頃の日本は第1次世界大戦参戦後の不景気の底にあり、1905年ロータリー発足時のシカゴと共通するものがありました。

やがて福島氏が帰国し大正9(1920)年秋、翁を会長に25人のメンバーが集い、翌年に当時のロータリー国際連合会(今のRI)に加盟が認められました。その後は日本各地にロータリークラブが誕生し、その連合体として翁が初代地区ガバナーに、そして日本人初のRI理事になっておられます。昭和になり第2次大戦で日本のロータリークラブは次々とRI脱退を余儀なくされ、終戦後の昭和21(1946)年RI復帰を見ることなく、翁は78歳で他界されています。

翁のロータリーでの留学生援助等の活動は時代背景もあり見出せませんが、翁が理事長を務めた(財)三井報恩会において学生・若者への支援活動が行なわれています。そして、昭和27(1952)年に東京ロータリーが(当初は東南アジアからの)留学生対象の奨学金制度を立ち上げ、翁の名をいただいて今日を迎えています。

米山記念奨学事業は、日本のロータリーが誇る素晴らしい制度であります。会員の皆さんには、自らの国際奉仕活動と意義付け日本ロータリーの祖である翁を、讃え偲びながら事業に参画していただきたく、寄付増進にご理解ご協力をお願い申し上げます。(以上 2011年9月地区米山委員長会議のため作成原稿を再録)



10月職業奉仕月間に因んで

地区奉仕プロジェクト部門カウンセラー パストガバナー

米田 真理子

台風12号・15号による紀南方面の被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。



残暑も束の間、朝夕には寒さを感じるようになってまいりました。皆様には日々ロータリー活動に頑張っておられることと拝察いたします。私は秋の涼風と秋祭りの太鼓の音を楽しみながら、自分の職業分類でもある薬剤師の仕事に勤しんでおります。現在は、紀南地方の台風被災支援、東日本大震災被災地の救援・復興支援が第一優先だと日々ボランティア活動にも励んでおります。

さて、10月は職業奉仕月間です。「職業奉仕」と言う、どの辞書にも載っていない言葉をロータリー活動の中核概念として世界122万人ものロータリアンはそれぞれに理想を描きながら奉仕の実践活動をしてきたのです。この「職業奉仕」と言う概念は「ロータリーの綱領」の中に染まされていますが、この綱領の解釈についても議論を起こすところです。

1951年のニュージャージー州アトランタで開催された国際大会で国際ロータリー定款第3条およびクラブ定款を改定し、それまで複数あった綱領を単数にしたのです。「Objects」を「Object」にし、現在に至っています。

ロータリーの綱領は、「有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。」実はこれは前文でなく、綱領そのものであり、第一から第四までは、この綱領を達成する4つの方途であります。ここでは方途はまだまだあるが、「特に」と示して、重要な道を示しているのです。

綱領の第一項で、職業倫理の向上という心の向かう方向は、奉仕の理想と言う共通の信条をロータリアン、ロータリアンの家族、ロータリアンの事業所の人々、その関係する地域社会の人々による世界的な親交は、必ずや世界平和の親交に役立つであろうと宣言しているのです。

ロータリー運動における理念の提唱はアーサー・F・シェルドンが「He Profits Most Who Serves Best」、フランク・コリンズが「Service, Not Self」と言う2大標語を発想以来、1915年にガイ・ガンディカーの「A Talking Knowledge Of Rotary」、1921年のシェルドンによる「The Philosophy Of Rotary」「決議23-34」「大連ロータリー宣言」など…先人のロータリーの奉仕哲学を学び、それについての実践は、わたしたちに課せられた重大な義務であろうと考えます。

利己的な欲求と利他の心の葛藤を和らげる人生哲学

ロータリー哲学は、奉仕 Service above self の哲学であり、これは He profits most who serves best という実践的な倫理原則に基づくものであります。

10月職業奉仕月間に因んで

ロータリーの会員資格は会員の職業に基づいており、各クラブは地元地域社会の事業と専門職務の縮図をクラブで再現するように務めます。職業奉仕を通してロータリアンはすべての取引における高い倫理基準を守り、これを推進し、あらゆる有用な仕事の価値を認め、自己職業上の専門知識や技能を社会のニーズに役立てるように期待されています。職業奉仕を推進する責務は、ロータリークラブとクラブ会員の双方にあります。各クラブは会員の職業的スキルを發揮できるようなプロジェクトを実施すべきです。また、クラブ会員がそのようなプロジェクトに貢献し、ロータリーの原則に沿って事業や仕事を律することが求められています。

四つのテストは1932年当時シカゴロータリークラブの会員であり、1954-1955年度に国際ロータリー会長を務めたハーバートJ. テイラーにより発案されました。倒産寸前にあった会社を建て直す仕事を任されたテイラーは仕事に関連するすべての事柄において従うべき倫理的指針として「四つのテスト」を創りました。この会社が倒産を免れたのはこのシンプルな哲学のお陰であったと人々は考えました。その後1943年に国際ロータリーによって採択されて以来、「四つのテスト」はロータリアンが倫理的行動を測る上での重要な尺度として用いられてきました。このテストは数十カ国語に翻訳されて世界中のロータリアンによって推進されています。

職場での倫理的行動を実践するための3つのカギ

☆誠実な言葉遣い ☆正しい行動に徹する姿勢 ☆曖昧さを断固として許さない

この3つの態度が倫理的な事業慣行のよりどころであると述べられています。

1) 誠実な言葉遣い

リーダーが組織のためにできるもっとも重要なことのひとつは、誠実な言葉遣いである。言葉の力を用いて、自らの倫理的立場を明確に述べる。

2) 正しい行動に徹する姿勢

従業員が人としての高潔さを育み、実践していけるように勤務評価の期待事項として倫理の実践を組み入れる。

3) 曖昧さを断固として許さない態度

正しい行いへと導く明確で力強く、ゆるぎない考えを持つためには、これこそが重要なのだ。

最後に1912年9月号ロータリアン誌から抜粋した言葉を引用してお伝えし、10月が素晴らしい職業奉仕月間になりますよう心よりご祈念申し上げます。

『ロータリーの水準と理想を高く掲げることの重要性は、いくら強調してもしすぎることはありません。ロータリーの倫理の大空に希望の星が高らかに輝かなければなりません。希望の星が高すぎるということはまずありえないでしょう。どこからでも目指して努力できるくらいの高さであることを願っています。』

職業奉仕月間によせて

地区職業奉仕委員会委員長

米澤 清和



ロータリークラブでは、行動を必要とされます。社会奉仕、国際奉仕においても机上の空論は許されません。いくら議論を積み重ねても、行動しなければ意味を持ちません。しかし、行動する時、必要となるのは哲学(PHILOSOPHY)です。ある集団や組織が行動を共にするとき、必要最小限のPHILOSOPHYを共有しなければ、その行動はバラバラで価値のないものになってしまうことでしょう。このPHILOSOPHYを職業奉仕と考えたいかがでしょうか。日本では「職業奉仕ってわかりにくい、なにをするの?」と疑問をお持ちになるロータリー会員もおられる半面、職業奉仕について語ることが好きなロータリー会員も多くおられるようです。なぜ日本のロータリーでこのような混沌としたことになっているのでしょうか?それはやはり、よく言われてきましたが、ロータリークラブが西洋、とくにキリスト教の社会から生まれたものだからでしょう。最近出版された「ふしぎなキリスト教」という本のなかで、「いまある程度近代化した社会の中で、近代の根っこにあるキリスト教を「わかっていない度合い」というのをもしIQのような指数で調べることができたとしたら、おそらく日本がトップになるだろう。それは日本人が特に頭が悪いということを意味しているわけではない。そうではなくて、日本があまりにもキリスト教とは関係のない文化的伝統の中にあつたことが原因である。」という一節があります。

このことはロータリーのことだけではなく、戦後、日本と西洋の関わりの中でおこる政治的な或いは経済的な摩擦や擦れ違い、誤解の大きな原因の1つに考えられています。

よく二宮尊徳の報徳思想や、「三方よし」とする近江商人の経営理論を例会で聞くことがありますが、本来のロータリー哲学(職業奉仕)とは異質のように思います。このような日本とキリスト教を根底とする西洋の文化的、宗教的な違いを理解する上で、マックスウェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」は参考になる1冊だと思います。またこの論文が書かれたのと、アーサー・フレデリック・シェルダンがシカゴロータリークラブに入会し、職業奉仕理念をロータリーに提唱したのが、殆ど同時期であつたというのも大変興味深いことです。

日本と西洋の職業奉仕の違いで1つ例を挙げますと、profitという概念です。日本では奉仕をすることにより精神的な利益を得る、それがprofitだと言われます。ボランティアという言葉で表現され、物質的利益をえることに罪悪感さえ感じます。しかし西洋ではシェルダンの「He profits most who serves best」の言葉でもわかるように、奉仕することで精神的利益と物質的利益を得ることができます。もうすこし具体的に言いますと、私が仕事上で知り合い、仕事だけではなく人生においても師と仰いでいます、あるアメリカ人の先生の言葉を御紹介します。「私達が職業において、相手に自分の持てる知識、技量を100%発揮し、誠意を持って仕事をするならば、その「効果的結果」を得ることができます。その効果的結果とは、物理的報酬と精神的報酬です。自分の職業を遂行する中で物理的報酬と精神的報酬を両方手に入れたければ、次のことをすべきです。

職業奉仕月間によせて

- ① Know yourself(自分自身を知りなさい)
- ② Know your client, customer, business connection, patient, etc(相手を知りなさい)
- ③ Know your work(自分の仕事に精通すること)
- ④ Apply your knowledge(自分の仕事についての知識を相手のために使うこと)

職業奉仕(ロータリー哲学)のことを勉強しますと、歴史、文化、宗教、経済、心理学、人生観、などいろいろな関連した分野のことに興味が起こってきます。

クラブの例会で皆様で語り合っていたくもよし、秋の夜長、読書をしながらロータリー哲学に耽る、というのもいかがでしょうか。

国際ロータリー第2640地区 2010-2011年度 収支決算書

収入の部	09~10予算額	09~10決算	10~11予算額	10~11決算額	備 考
前年度繰越金		46,368,065		46,215,620	
上記の内、米山ファンド		2,465,166		2,465,166	
差引前年度繰越金		43,902,899		43,750,454	
R I よりの交付金	2,600,000	2,007,109	2,400,000	2,163,902	
地区資金	31,200,000	29,484,000	29,900,000	29,162,250	
利子収入		26,373		10,905	
PETS・地区協議会余剰金		1,277,206		344,677	
雑収入		394,748		50,000	
合 計	33,800,000	77,092,335	32,300,000	75,482,188	

支出の部	09~10予算額	09~10決算	10~11予算額	10~11決算額	備 考
委員会経費	370,000	569,587	520,000	706,734	
諮問委員会	350,000	569,587	500,000	641,114	
ガバナー指名委員会	10,000	-	10,000	65,620	
業績賞選考委員会	10,000	-	10,000	0	

クラブ主導

クラブ奉仕関連	255,000	794,218	700,000	904,740	
情報・規定委員会	85,000	274,215	100,000	0	
会員増強・退会防止委員会	85,000	68,880	200,000	41,840	
雑誌・広報委員会	-	424,481	300,000	762,900	
I T委員会	-	-	-	-	
雑誌・広報、I T委員長会議	85,000	26,642	100,000	100,000	

職業奉仕関連	85,000	83,675	500,000	377,325	冊子作成
職業奉仕委員会	85,000	83,675	500,000	377,325	

社会奉仕関連	85,000	39,115	100,000	3,442	
社会奉仕委員会	85,000	39,115	100,000	3,442	

新世代関連	4,400,000	4,162,877	6,700,000	3,203,393	
青少年・RYLA委員会	1,000,000	1,000,000	1,500,000	165,300	
ローターアクト委員会	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,301,000	
インターアクト委員会	1,700,000	1,462,877	2,000,000	1,106,560	
青少年交換委員会	————	————	1,500,000	630,533	

国際奉仕関連	1,085,000	480,273	300,000	235,200	
世界社会奉仕委員会	85,000	35,740	300,000	235,200	
青少年交換委員会	1,000,000	444,533	————	————	

支出の部	09~10予算額	09~10決算	10~11予算額	10~11決算額	備 考
ロータリー財団関連	1,700,000	1,397,250	2,500,000	428,005	
奨学金委員会（・学友）	1,000,000	1,097,250	1,500,000	245,413	
研究グループ委員会	700,000	300,000	1,000,000	182,592	
米山関連	85,000	-	200,000	0	
米山記念奨学委員会	85,000	-	200,000	0	

地区主導

地区主導	-	-	-	-	
委員会予備	-	-	-	-	

会議費	835,000	813,724	1,950,000	2,629,670	
I. M (インターティームミーティング)	50,000	-	50,000	165,500	
地区チーム研修セミナー	200,000	526,805	400,000	847,731	
地区幹事会	200,000	5,650	200,000	62,737	
ガバナー補佐会議費	300,000	238,935	1,000,000	1,123,564	含補佐活動費
会長会議	85,000	42,334	100,000	198,744	
その他 会議費	-	-	200,000	231,394	

ガバナー連絡会議(旅費)	2,000,000	1,645,000	2,000,000	1,584,810	ロータリー研究会
---------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	----------

各種補助、協力金	2,960,000	3,377,005	2,456,000	3,048,915	
ロータリー文庫協力金	480,000	672,000	460,000	667,500	
ガバナー会協力金	480,000	448,000	460,000	608,450	
平和奨学生支援金	-	33,705	36,000	0	
GE国際協議会参加補助金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	
GE国際大会参加補助金	500,000	500,000	500,000	0	
規定審議会参加補助金	500,000	500,000	-	-	
RIJYEC維持協力金	-	223,300	-	221,800	
RLI研修	-	-	-	931,249	
クラブ会長他会議2回	-	-	-	619,916	

直前ガバナー記念品	150,000	120,000	150,000	100,000	
------------------	----------------	----------------	----------------	----------------	--

ガバナー月信	300,000	906,045	300,000	315,000	
---------------	----------------	----------------	----------------	----------------	--

HP作成	1,400,000	1,784,685	1,500,000	1,580,000	
-------------	------------------	------------------	------------------	------------------	--

事務職員研修セミナー費	-	-	-	-	
--------------------	----------	----------	----------	----------	--

事務所経費	18,000,000	14,168,427	12,190,000	13,267,828	
--------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--

予備費	90,000	-	234,000	0	
------------	---------------	----------	----------------	----------	--

雑費(米山繰越金返金・ ジャパン付取消料)	-	-	-	-	
--------------------------	---	---	---	---	--

新クラブ設立費	-	3,000,000	-	3,500,000	新ロータリークラブ2 新インターアクトクラブ3
---------	---	-----------	---	-----------	----------------------------

計	33,800,000	33,341,881	32,300,000	31,885,062	
----------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--

次年度繰越金	-	43,750,454	-	43,597,126	
---------------	----------	-------------------	----------	-------------------	--

合計	33,800,000	77,092,335	32,300,000	75,482,188	
-----------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--

災害等非常時積立金

収入の部

前年度繰越金	7,984,302	
奄美地方豪雨災害義援金	1,367,400	
ニュージーランド地震災害義援金	1,198,905	
東日本大震災災害義援金	10,773,787	
合計	21,324,394	

支出の部

奄美地方豪雨災害義援金	1,367,400	
ニュージーランド地震災害義援金	1,198,905	
送金費	10,000	
東日本大震災		
義援金(ガバナー会)	1,380,000	
義援金(2520地区)	10,000,000	
救援物資購入費	3,031,863	
搬送費	135,091	
搬送保険費	24,200	
広報費	210,000	
次年度繰越金	3,966,935	
合計	21,324,394	

世界社会奉仕ファンド

収入の部

前年度繰越金	19,358,262	
クラブ拠出金	3,369,000	
利息	3,788	
合計	22,731,050	

支出の部

クラブへの補助金	3,181,542	
セブ島海外視察下見費	238,500	
セブ島海外視察保険費	42,120	
セブ島マングローブ支援金	500,000	
次年度繰越金	18,768,888	
合計	22,731,050	

新世代および国際交流ファンド

収入の部

繰越金	784,458	
クラブ拠出金	7,861,000	
青少年交換旅行費受入	160,000	
合計	8,805,458	

支出の部

青少年長期学生補助金	4,000,000	
青少年短期学生補助金	120,000	
青少年交換旅行代	600,000	
RAC助成金	640,000	
RAC全国研修会費用・海外研修助成金	500,000	
IAC助成金	1,200,000	
IAC行事補助金	163,846	
IAC海外研修助成金	1,378,750	
ROTEX活動費	100,000	
次年度繰越金	102,862	
合計	8,805,458	

地区誌編纂分担金

収入の部

前年度繰越金	6,885,589	
クラブ拠出金	673,800	
合計	7,559,389	

支出の部

地区誌編纂委員会	48,287	
次年度繰越金	7,511,102	
合計	7,559,389	

GSE特別分担金

収入の部

前年度繰越金	1,435,882	
クラブ拠出金	898,400	
歓送迎会登録料	381,000	
地区資金補填	69,157	
合計	2,784,439	

支出の部

受入補助金	980,000	
受入歓送迎会	509,322	
派遣費用	255,833	
派遣壮行会	94,100	
派遣オリエンテーション	175,184	
IT開発(地区データ処理)	770,000	
次年度繰越金	0	GSE廃止のため
合計	2,784,439	

米山記念奨学ファンド

収入の部

前年度繰越金	2,465,166	
合計	2,465,166	

支出の部

東京米山友愛RC	60,000	
上海シンポジウム費	1,043,862	チラシ・会場費他
委員会会場費	108,870	
次年度繰越金	1,252,434	
合計	2,465,166	

ライラセミナー

収入の部

前年度繰越金	1,799,952	
クラブ拠出金	2,234,000	
合計	4,033,952	

支出の部

ライラセミナー研修費(11/7)	300,000	
セミナー会場費(3/5-6)	1,087,705	
セミナー費(3/5-6)	136,380	記念品・写真他
委員会費用	92,715	
ライラジャンパー費	238,690	
保険料	75,001	
セミナー生優秀者国際大会参加費用	1,510,880	
次年度繰越金	592,581	
合計	4,033,952	

米山梅吉記念館への寄付

収入の部		
前年度繰越金	0	
クラブ拠出金	137,200	
合計	137,200	
支出の部		
米山梅吉記念館への寄付	137,200	
次年度繰越金	0	
合計	137,200	

社会奉仕エイズデー協力金 (IM1.2.3.4組)

収入の部		
前年度繰越金	529,607	
利息	77	
合計	529,684	
支出の部		
和歌山県庁(アナウンサー)	30,000	
和歌山放送	52,500	
デモンストレーション副賞	20,000	
配布飲物費 他	4,336	
次年度繰越金	422,848	
合計	529,684	

社会奉仕協力金

収入の部		
前年度繰越金	1,489,898	
識字率向上運動募金	597,796	
合計	2,087,694	
支出の部		
識字率向上運動拠出金	597,796	ユニセフへ
2650地区拉致被害者支援金	229,300	
次年度繰越金	1,260,598	
合計	2,087,694	

雑誌広報委員会費内訳

収入の部		
前年度繰越金	0	
RI広報補助金	516,000	
地区資金より	762,900	
合計	1,278,900	
支出の部		
和歌山毎日広告	1,260,000	
雑誌・広報委員会	18,900	
次年度繰越金	0	
合計	1,278,900	

PETS・地区協議会会計報告

収入の部		
会長エレクト勉強会・PETS・地区協議会登録料	6,992,000	
合計	6,992,000	
支出の部		
PETS費用	3,556,483	
地区協議会費用	3,090,840	
次年度繰越金(地区資金口座へ)	344,677	
合計	6,992,000	

新クラブ設立費用

堺フラワーRC	1,000,000	
泉州KUMATORI RC	1,000,000	
初芝橋本高校IAC	500,000	
初芝立命館高校IAC	500,000	
賢明学園IAC	500,000	
合計	3,500,000	

地区大会

収入の部		
前年度繰越金	4,942,276	
クラブ拠出金	23,130,000	
ゴルフ大会残金	244,827	
本会議登録料	185,000	
晩餐会登録料	4,675,000	
お祝金	90,000	
利息	681	
合計	33,267,784	
支出の部		
明細は別紙参照	28,747,243	
次年度繰越金	4,520,541	
合計	33,267,784	

地区大会記念ゴルフ大会

収入の部		
登録料	2,590,000	
利息	69	
合計	2,590,069	
支出の部		
大会諸経費	2,345,242	
残金	244,827	地区大会へ
合計	2,590,069	

事務所経費内訳

人件費	4,523,229	
福利厚生費	24,714	
印刷費	2,265,559	
事務用品費及び消耗品費	1,381,797	
通信費	495,012	
慶弔見舞金	1,593,000	
新聞図書費	163,085	
振込み手数料	116,730	
事務所借室費・駐車場費	0	
ガバナー公式訪問交通費	800,000	
交通費	953,352	
水道光熱費	313,083	
運賃	205,205	
修繕費	199,757	
その他経費	233,305	
合計	13,267,828	

別紙の通り、地区会計報告をいたします。

2011年9月30日

国際ロータリー第2640地区

2010-2011年度

財務委員会委員長 片木 修



代表幹事 小野 晃範



上記報告書を監査致しました。

外部監査

公認会計士 上地 克彦



**2010～2011年度
地区大会 収支報告書**

収入の部		内 訳
会員賦課金	23,130,000	10,000 × 2313名
晩餐会登録料	4,675,000	20,000 × 209名 15,000 × 33名
他地区来賓本会議登録料	140,000	10,000 × 11名 5,000 × 6名
2640地区ご家族本会議登録料	45,000	5,000 × 9名
記念ゴルフ大会残金受け入れ	244,827	
御祝金	90,000	
その他	681	利息
(前年度繰越金)	4,942,276	
合計	33,267,784	

支出の部		
事務所経費	2,631,623	
印刷関係	730,790	
広告費	211,000	
登録関係費	543,181	
会場関係費	5,665,260	
晩餐会費	5,559,473	
本会議昼食代	3,061,000	
講師費	1,280,000	
RI会長代理他来賓費	809,510	
記念品代	1,354,576	
エクスカーション費	131,878	
記念記録費	2,839,750	
アトラクション費	1,657,010	
友愛の広場	1,613,842	
その他	658,350	
小計	28,747,243	
次年度繰越金	4,520,541	
合計	33,267,784	

2011年9月30日

地区大会実行委員長

小野 晃範

副実行委員長

上田 俊夫

副実行委員長

京谷 知明

大会事務長

岡田 正一



監査報告書

国際ロータリー第2640地区

会員各位

2010-2011年度（平成22年7月1日から平成23年6月30日迄）の決算報告、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書等附属明細書を監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。

以上

平成23年9月30日

国際ロータリー第2640地区
外部監査役 公認会計士
印

公認会計士 上地克彦



新入会員紹介



南 良暢

みなみ よしのぶ

所属クラブ：有田2000
職業分類：病院
生年月日：1972年2月10日



岡本 仁平

おかもと にへい

所属クラブ：羽曳野
職業分類：不動産管理
生年月日：1945年2月4日



山田 良徳

やまだ よしのり

所属クラブ：泉佐野
職業分類：企業支援
生年月日：1961年11月22日



内藤 早苗

ないとう さなえ

所属クラブ：堺
職業分類：弁護士
生年月日：1959年8月5日



野崎 俊治

のざき しゅんじ

所属クラブ：堺
職業分類：生命保険
生年月日：1955年9月24日



奥西 徹也

おくにし てつや

所属クラブ：堺
職業分類：証券業
生年月日：1968年6月24日



塩見 守

しおみ まもる

所属クラブ：堺北
職業分類：建設熱絶縁工事業
生年月日：1970年1月11日



唐崎 浩司

からさき こうじ

所属クラブ：堺おおいずみ
職業分類：弁護士
生年月日：1973年8月3日



松山 正

まつやま ただし

所属クラブ：堺フラワー
職業分類：自動車販売
生年月日：1969年1月20日



沖野 祐二

おきの ゆうじ

所属クラブ：堺フラワー
職業分類：介護用品販売
生年月日：1965年3月9日



冢瀬 義文

いのせ よしふみ

所属クラブ：田辺
職業分類：電気供給
生年月日：1958年4月26日



都志見 徹

つしみ とおる

所属クラブ：田辺
職業分類：公証人
生年月日：1950年7月29日

新入会員紹介



橋本 竜也

はしもと たつや

所属クラブ： 富田林
職業分類： 造園
生年月日： 1964年11月16日



川端 健夫

かわばた たけお

所属クラブ： 富田林南
職業分類： 電機部品組立
生年月日： 1944年1月28日



戸神 良章

とがみ よしあき

所属クラブ： 和歌山
職業分類： 電力供給
生年月日： 1954年6月3日



江口 秀孝

えぐち ひでたか

所属クラブ： 和歌山
職業分類： 通信
生年月日： 1958年12月2日



駒ヶ峯 幹雄

こまがみね みきお

所属クラブ： 和歌山南
職業分類： 警備保障
生年月日： 1960年11月13日



北庄司 芳文 様

(泉佐野RC)

1921年9月27日 生

在籍期間：50年 チャーターメンバー・名誉会員
職業分類：日本酒製造

ポール・ハリスフェロー
第2回米山功労者

2011年8月28日 死去



楠本 章 様

(和歌山東RC)

1922年11月17日 生

在籍期間：47年4ヶ月 名誉会員

マルチプル・ポール・ハリスフェロー3回
第2回米山功労者マルチプル

2011年8月24日 死去

PHF・ベネファクター (2011年8月分)

F…ポール・ハリス・フェロー / 数字…マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
BE…ベネファクター



氏名	回数	クラブ名
讃岐 洋精	BE	和泉南
丸井 弘亘	3	海南
竹本 欣司	BE	貝塚
角濱 正和	F	高野山
金尾 和幸	F	りんくう泉佐野
農端 俊博	3	堺
中井 昭宏	F	堺フェニックス
脇村 紀年	3	新宮
野村 富也	1	田辺
玉井 洋司	F	田辺
伊賀 久記	1	田辺
荷稻 實	1	田辺
小山洋八郎	1	田辺

米山功労者 (2011年8月分)



氏名	回数	クラブ名
伊賀 久記	4	田辺
玉置 英人	4	田辺
田中 陽	1	田辺
吉田 和枝	2	田辺東

『ロータリーの友』地区だより

横組み記事

RI指定記事

RI会長メッセージ バンコクで会いましょう P1

RI会長 カルヤン・バネルジー

今月号のRI会長メッセージでは、バネルジーRI会長は2012年5月に開催されるバンコク国際大会へ参加するようロータリアンとその家族の皆さまを誘っています。「旧友と出会い、さらに新しい友人をつくるために、私たちの成功を喜び合い、その経験から学ぶために、毎年、私は国際大会に出かけるのを楽しみにしています。そして、また奉仕の新しい一年を始めようと心に誓いながら、ロータリーへの誇りとともに、毎年会場を後にします」と、国際大会の意義について語っています。

特集 職業奉仕月間 職業奉仕を考える P5

今月は職業奉仕月間です。職業奉仕について、国際ロータリーの方針ならびに日本の先輩ロータリアンの考え方について紹介します。

四つのテストの沿革 STORY OF THE FOUR-WAY TEST P10-11

1954-55年度RI会長 ハーバート J. テーラー 『友』1955年2月号から転載

本文は、「四つのテスト」の考案者である元国際ロータリー会長のハーバート J. テーラー氏が執筆し、『ロータリーの友』に転載したものです。当時、旧漢字、旧仮名遣いで掲載した文章を現代の漢字、仮名遣いに変えて、あらためて掲載しました。

RI指定記事

バンコクにまつわる2つの街の話 P18-23 THE ROTARIAN 10月号

2012年5月6～9日にタイ・バンコクで開催される国際ロータリー年次大会(国際大会)のご案内です。バンコクには2つの顔があります。運河、水上マーケット、寺院と歴史的、伝統的なバンコク。そして、最先端の商業都市であるバンコク。その二つの顔を持つバンコクをお楽しみください。

心は共に6 東日本大震災 ロータリー、多岐にわたる活動 P24-30

2011年3月11日、東日本で起こった大震災以降、多くのロータリアンがその状況に心を痛み、手を差し伸べようと奔走(ほんそう)しました。その様子を「心は共に」のテーマで、毎号、掲載することになりました。今回は第6回です。

縦組み記事

海洋国日本よ 元気を出せ! P2-6 日本郵船(株)会長 宮原 耕治

私共のように海運業界におりますと、日本を外から見ているわけですが、中国の巨大なかげの中に日本がのみ込まれていくことを感ぜざるを得ません。日本の荷動き量は、1995年から見て減ってはいませんが、ほとんど横ばいです。2000年ころ、中国関係の荷物は日本の半分くらいしかありませんでしたが、2004年に追いつかれ、その後は、ぐんぐん引き離されています。日本はもっと元気を出しましょう。

地区関連記事

横組み

ROTARY掲示板 P37・P38

事務所住所変更

岸和田東RC

〒596-0821 岸和田市小松里町2514 コルロフ5 102号

新インターアクトクラブ

賢明学院中学高等学校インターアクトクラブ 堺フラワーRC

縦組み

卓話の泉 P10-11

二次電池あれこれ(岸和田RCで)

例会での卓話を要約して掲載しています。この欄は、各クラブからロータリーの友事務所に定期的にお送りくださった会報・週報から、一般的に豆知識として活用いただけるような卓話を選び掲載しています。

ロータリー俳壇 歌壇 柳壇 P12-13

俳壇

時の日や整理と言ひて散らかして 堺フェニックスRC 米田真理子

柳壇

死ぬ前に一度ぐらいは謝ろう 堺清陵RC 物種唯修

バナー自慢 P17

河内長野東RC 那智勝浦RC

ハイライトよねやま138

1 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べて8.1%減、約2,400万円の減少となりました。普通寄付金が4.1%減、特別寄付金が15.5%減と、東日本大震災の影響もありますが、会員数が9万人を割り、寄付金の減少になかなか歯止めがかからない状況となっています。

10月は米山月間です。昨年度から税制優遇の対象が普通寄付金にも適用可能となり、寄付のメリットが増えています(詳細は『豆辞典』p11をご覧ください)。また、クラブ米山奨学委員長のための資料、『クラブ米山記念奨学委員長の手引き(寄付金マニュアル付)』の2011年度版もごさいます。事業理解の推進のもと、さらなる寄付への呼びかけをよろしく願い申し上げます。

2 理事会・評議員会開催報告

2011年度第1回の評議員会および2011年度第1回・第2回の理事会が、それぞれ8月30日(火)メルパルク東京(東京都港区)にて開催されました。

午前の評議員会には、全国から39名の評議員が出席し、常務理事および監事など10名が列席しました。互選によって、議長には大木勲評議員(第2820地区ガバナー)が選出されました。

午後の理事会は、新旧の理事38名と監事が出席。2010年度までの理事による第1回理事会と、2011年度からの理事による第2回理事会が開催されました。

【評議員会の主な決議】

- ・定款の変更の案の承認：公益財団法人に移行後の定款案を審議し、原案通り承認した。
- ・公益認定申請書類案の承認：公益認定に際し、内閣府に提出する申請書類の内容について審議し、原案通り承認した。
- ・2010年度事業報告・決算報告の承認：それぞれ原案通り承認



評議員会のようす

【第1回理事会における主な決議】

- ・定款の変更の案の承認：(上記評議員会決議に同じ)
- ・公益認定申請書類案の承認：(上記評議員会決議に同じ)
- ・2011年度選考委員会委員の選任：原案通り6名を選任
- ・2010年度事業報告・決算報告の承認：それぞれ原案通り承認



渡辺好政元 RI 理事

【第2回理事会における決議】

- ・2011年度役員を選任：役員候補者指名委員会を代表して、渡辺好政委員長から答申された以下の役員候補者を承認

理事長：板橋敏雄氏(2550)

副理事長：平山金吾氏(2790 新任)・近藤雅臣氏(2660 新任)

常務理事：高木貞一郎氏(2840)・大須賀洋氏(2590 新任)・三井章義氏(2600)・栗林英雄氏(2740 新任)

- ・任期満了の理事に対する感謝

理事会終了後は、板橋敏雄理事長より、退任理事および2010-11年度達成クラブ(寄付金1,000万円ごとに表彰)に対して感謝状が贈呈されたほか、米山記念奨学事業に関する活発な意見交換が行われました。

3 中国の全国剣道大会で準優勝 — 楊 敢峰さん —

中国・天津で8月19～21日、CKOU全国剣道大会(正式名称:2011年CKOU賽間杯全国剣道錦標賽)が開催され、米山学友の楊敢峰さん(中国/2004-05/水戸南RC)が、男子個人戦で準優勝しました。楊さんは、来年5月にイタリアで開催される第15回世界剣道大会(3年に1回開催)への中国選抜メンバーにも選ばれ、2大会連続での出場を果たします。楊さんのご健闘をお祈りいたします。



楊さんの紹介記事「中国で剣の道を開く」(『ロータリーの友』2009年5月号よねやまだより掲載)は、こちら:
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/report/img/yoneyamadayori_0905.pdf

4 まもなく米山の資料が全クラブへ届きます!

今年も米山月間【10月】用資料を全ロータリークラブへお届けします(9月16日発送完了)。クラブ会長およびクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。

理事、ガバナー、評議員、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

お送りする資料(豆辞典以外は基本的に1部ずつです)

- ・豆辞典 **※豆辞典は、全会員に配布してください**
(プレゼンテーション用パワーポイントは、地区米山奨学委員長・ガバナー事務所へメールでお送りしますが、当会ホームページからもダウンロードできます。お気軽にお問い合わせください)
- ・クラブ米山記念奨学委員長の手引き(委員長用)
- ・寄付金マニュアル(クラブ事務局用)
- ・2010-11年度事業報告書
- ・2010-11年度事業報告書(統計・資料編)
- ・2010年度決算報告(クラブ会長・委員長各1部)



5 訃報 第2750地区前理事 小林禮次郎氏逝去

国際ロータリー第2750地区のロータリー米山記念奨学会前理事・小林禮次郎氏が、8月13日にご逝去されました。享年83歳でした。小林氏は、1999-2000年度の同地区パストガバナーで、2007年8月から4年間、当会理事をお務めいただきました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

もうすぐ締切!

第3回中国学友会総会のご案内 in北京

2009年に正式発足した中国米山学友会の第3回総会が、今年は10月22日(土)に北京で開催されます。昨年7月に上海で開かれた第2回総会・懇親会には、万博会期中ということもあり、日本からもたくさんのロータリアンが参加しました。今年は、学友会同士の親善交流が主な目的となりますが、「ロータリアンの参加も大歓迎」とのことですので、関心のある方はぜひご参加ください!

(申込締め切り日:9月15日 *ただし、締め切り後も受付可能とのことです。お早めにお申し込み下さい)

申込方法など、詳細は当会ホームページ「News&Topics」をご覧ください。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

文庫通信

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演より

- ◎「有田の伝統を語る(対談)」 14代酒井田柿右衛門 2011 7p (D.2740)
- ◎「夢を創る」 安藤忠雄 2011 4p (D.2580)
- ◎「一隅を照らす」 半田孝淳天台座主 2011 6p (D.2600)
- ◎「遺言書を書いて千日回峰行」 上原行照師大阿闍梨 2011 5p (D.2600)
- ◎「いくつもの壁にぶつかりながら『19歳・児童売春撲滅への挑戦』」 村田早耶香 2011 4p (D.2780)
- ◎「日本のこれから、日本人のこれから」 藤原正彦 [2011] 16p (D.2530)
- ◎「アジア大交流時代の幕開けと日本人」 浜田和幸 2011 7p (D.2560)
- ◎「ソフトパワー大国を目指して～山形からの可能性」 結城章夫 [2011] 7p (D.2800)
- ◎「CO2貯留研究の現状と課題」 村井重夫 [2011] 12p (D.2800)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時

休館=土・日・祝祭日

お知らせ

新インターアクトクラブが誕生しました

帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校インターアクトクラブが
2011年10月5日 RI加盟認証されました

<スポンサークラブ>

泉州KUMATORIロータリークラブ

会長 田中 泰吉

幹事・インターアクト委員長 堀本 誠

帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校 校長 脇田 忠昭

インターアクトクラブ 顧問 岡 憲司

インターアクトクラブ 会長 嶋田絵理香

認証状伝達式

日時：2011年10月30日(日) 11時

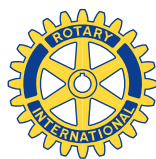
場所：帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校



出席報告(2011年8月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	8月 出席率	平均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	8月 出席率	平均 出席率
	11.7.1	8月末	8月	累計	8月	累計					11.7.1	8月末	8月	累計	8月	累計			
有田	33	33	0	0	0	0	4	92.20	95.25	大阪狭山	8	8	0	0	0	0	3	95.80	92.90
有田南	33	34	0	1	0	0	4	100.00	100.00	りんくう泉佐野	21	21	0	0	0	0	4	81.25	84.38
有田2000	13	15	1	2	0	0	4	83.33	86.91	堺	65	68	3	3	0	0	3	93.09	92.00
藤井寺しゅら	10	10	0	0	0	0	3	80.00	85.70	堺東	32	32	0	0	0	0	4	95.72	94.97
御坊	48	48	0	1	0	0	3	82.22	84.33	堺北西南西	18	18	0	0	0	0	4	74.99	80.14
御坊東	15	15	0	0	0	0	5	84.00	89.78	堺泉ヶ丘	22	23	0	1	0	0	4	93.48	93.41
御坊南	26	26	0	0	0	0	4	75.00	79.50	堺北	29	30	1	1	0	0	3	78.88	79.52
羽曳野	15	16	1	1	0	0	4	96.90	96.73	堺南	23	23	0	0	0	0	4	90.24	90.24
羽衣	15	15	0	0	0	0	3	86.63	86.94	堺中	19	20	0	1	0	0	4	82.89	83.55
橋本	49	52	0	3	0	0	3	95.18	94.97	堺西	16	16	0	0	0	0	3	88.89	91.76
橋本紀ノ川	11	11	0	0	0	0	4	88.62	92.79	堺おおいずみ	30	31	1	1	0	0	4	81.99	84.75
岩出	27	27	0	0	0	0	3	91.35	94.75	堺フェニックス	29	29	0	0	0	0	3	82.90	89.75
和泉	29	29	0	0	0	0	4	80.02	84.20	堺清陵	19	18	0	0	1	1	3	79.63	80.09
和泉南	26	27	0	1	0	0	3	69.13	68.36	堺東南	11	11	0	0	0	0	3	100.00	98.86
泉大津	48	49	0	1	0	0	3	80.27	84.12	堺フラワー	23	25	2	2	0	0	3	94.60	97.30
泉佐野	34	38	1	4	0	0	3	87.80	88.15	泉南	15	15	0	0	0	0	3	85.71	85.71
海南	38	38	0	0	0	0	4	75.72	76.81	泉南 KUMATORI	22	23	0	1	0	0	3	90.00	86.20
海南東	60	60	0	0	0	0	4	76.67	78.62	新宮	61	62	0	1	0	0	4	81.05	81.05
海南西	18	18	0	1	0	0	3	88.51	85.36	白浜	13	13	0	0	0	0	4	100.00	100.00
貝塚	17	17	0	0	0	0	4	91.18	93.39	太子	10	10	0	0	0	0	3	73.30	73.30
貝塚コスモス	18	18	0	0	0	0	5	93.97	92.73	高石	29	29	0	0	0	0	4	77.88	77.88
関西国際空港	23	23	0	1	0	0	4	82.61	79.35	高師浜	16	16	0	0	0	0	4	78.89	80.07
河内長野	35	34	0	0	0	1	3	76.90	79.80	田辺	82	83	2	2	0	1	3	88.84	87.71
河内長野東	27	27	0	0	0	0	4	91.53	93.24	田辺はまゆう	33	35	0	2	0	0	4	91.43	93.81
岸和田	36	35	0	0	0	1	4	91.18	92.28	田辺東	48	49	0	1	0	0	4	85.06	87.71
岸和田東	47	46	0	0	0	1	3	92.03	92.51	富田林	39	40	1	1	0	0	3	71.26	73.39
岸和田北	14	14	0	0	0	0	4	100.00	100.00	富田林南	17	18	1	1	0	0	3	84.53	85.13
岸和田南	17	17	0	0	0	0	3	96.08	93.63	和歌山	64	68	2	4	0	0	4	83.32	83.47
粉河	21	21	0	0	0	0	4	100.00	100.00	和歌山アゼリア	37	38	0	1	0	0	4	72.80	76.58
高野山	16	17	0	1	0	0	3	93.00	94.30	和歌山東	42	44	0	2	0	0	3	83.57	85.10
串本	13	13	0	0	0	0	4	69.23	70.27	和歌山城南	39	39	0	0	0	0	3	86.63	90.70
松原	30	30	0	1	0	1	5	94.36	93.62	和歌山北	44	45	0	1	0	0	4	80.79	81.80
松原中	22	22	0	0	0	0	4	91.67	85.66	和歌山南	88	89	1	2	0	1	3	90.67	87.47
美原	13	15	0	2	0	0	3	84.00	90.00	和歌山中	29	30	0	1	0	0	3	88.26	88.14
那智勝浦	18	18	0	0	0	0	4	63.24	66.92	和歌山西	22	22	0	0	0	0	4	90.00	91.25
大阪金剛	28	28	0	0	0	0	3	77.37	78.04	和歌山東南	49	51	0	2	0	0	4	87.50	89.43
										Rotary E-Club Sunrise of Japan	4	4	0	0	0	0	4	100.00	100.00

クラブ	7月1日クラブ会員数				8月末クラブ会員数				8月平均 出席率	入会		退会	
	男性	1957	女性	154	男性	1992	女性	160		8月	累計	8月	累計
73	2111				2152				86.13	17	51	1	7



2011-2012年度ガバナー事務所

〒590-0021

大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町1丁目1番16 C棟14号

TEL:072-224-2640

FAX:072-224-2650

E-mail: osawa-2011@rid2640g.org

HPアドレス:<http://www.rid2640g.org/osawa/>